

製品名: Tip5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18960**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	210kDa

抗原情報

遺伝子名	BAZ2A BAZ2A; KIAA0314; TIP5; Bromodomain adjacent to zinc finger domain protein 2A;
別名	Transcription termination factor I-interacting protein 5; TTF-I-interacting protein 5; Tip5; hWALp3
遺伝子 ID	605682.0
SwissProt ID	Q9UIF9
免疫原	抗血清はヒト BAZ2A 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 1281-1330

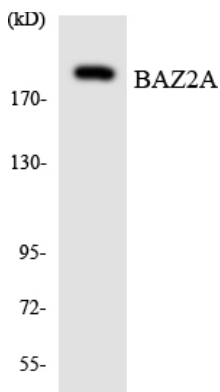
背景

機能: ISWI と相互作用して転写調節に関与する可能性がある。rDNA 遺伝子座のクロマチン構造の維持または変化において特定の役割を果たす可能性がある。PTM: DNA 損傷時に、おそらく ATM または ATR によってリン酸化される。配列注意: 配列が汚染されている。潜在的なポリ A 配列です。類似性:WAL ファミリーに属します。類似性:1 つのプロモドメインを含みます。類似性:1 つの DDT ドメインを含みます。類似性:1 つの MBD (メチル CpG 結合) ドメインを含みます。類似性:1 つの PHD 型ジンクフィンガーを含みます。類似性:4 つの A.T フック DNA 結合ドメインを含みます。細胞内位置:核小体で基底 RNA ポリメラーゼ I 転写因子 UBF と共存します。サブユニット:SMARCA5 とともに、NoRC (核小体リモデリング複合体) と呼ばれる複合体を形成します。組織特異性:心臓、脳、胎盤、肺、骨格筋、腎臓、膵臓など、分析されたほとんどの組織で中程度のレベルで発現しています。機能:ISWI と相互作用して転写調節に役割を果たす可能性があります。rDNA 遺伝子座のクロマチン構造を維持または変更する特定の役割を果たす可能性があります。PTM: DNA が損傷すると、おそらく ATM または ATR によってリン酸化されます。配列の注意: 配列が汚染されています。潜在的なポリ A 配列です。類似性:WAL ファミリーに属します。類似性:プロモドメインを 1 つ含みます。類似性:DDT ドメインを 1 つ含みます。類似性:MBD (メチル CpG 結合) ドメインを 1 つ含みます。類似性:PHD 型ジンクフィンガーを 1 つ含みます。類似性:A.T フック DNA 結合ドメインを 4 つ含みます。細胞内局在:核小体で基底 RNA ポリメラーゼ I 転写因子 UBF と共局在します。サブユニット:SMARCA5 とともに、NoRC (核小体リモデリング複合体) と呼ばれる複合体を形成します。組織特異性:心臓、脳、胎盤、肺、骨格筋、腎臓、膵臓など、分析したほとんどの組織で中程度のレベルで発現しています。、

研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達; 転写; プロモドメイン含有; その他の因子

画像データ



BAZ2A 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウエスタンブロット分析。